

「第9回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

<p>Q. 【知立市の男女共同参画について】 29日愛知県副知事の講演会において愛知県は、女性の活躍の場の拡大を提示しています。知立市において男女共同参画をどのようにとらえ、どのように活用しているかを教えてください。また、市役所、教育の現場での女性の登用、現状、また、知立市内の会社で女性の登用の促進をしている会社や事業所があったら教えて欲しい。</p>	
1	<p style="text-align: center;">回答所管課 協働推進課</p> <p>知立市では「男女共同参画社会の実現」を目標に1999年に「知立市男女共同参画プラン」を策定、2009年には「第2次 知立市男女共同参画プラン」を策定し、プランに沿って男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。男女共同参画社会の実現は、一人ひとりの人権が尊重されることに留まらず、将来にわたり活力ある社会を築く上で、新たな発想を取り入れていくという観点からも重要な意義を持つと考えています。 平成24年度末の市役所、教育現場での女性の登用状況は、市職員の管理職に占める女性の割合が18.10%、校長・教頭職への女性職員の占める割合が25.0%となっています。また、知立市内の会社で女性の登用の促進をしている会社や事業所についての把握はしていませんが、企業等には女性の登用促進を含む積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の普及、ワークライフ・バランスの実現に向けた啓発の推進を継続して行っています。</p>

<p>Q. 【三河線の件】 竜北中付近に新駅を設置との事ですが、豊田市と協力して三河線全線複線化をしたら良いと思います。1時間に今より本数がふえて便利になる。10分間隔にすれば今以上に利用しやすい。</p>	
2	<p style="text-align: center;">回答所管課 都市開発課</p> <p>三河線の増強は知立市のみならず三河地域の発展に繋がることでもあります。 豊田市内でも部分的に複線化が進められており、知立駅周辺の鉄道高架事業でも知立駅から移設駅までは複線化となる計画です。 名鉄でも全線複線化の構想があり、名鉄の単独事業としても複線化が推進されていくかもしれません。 今後の動向につきましては名鉄、愛知県そして豊田市とも情報交換をしながら、把握していきたいと考えます。</p>

<p>Q. 【地震に対して】 避難場所の確保をしてほしい。海拔何メートルとか電信柱に取り付けてくれると良い。</p>	
3	<p>回答所管課 安心安全課</p> <p>現在、市内全域に27ヶ所の避難所を確保しており、想定される避難者数を網羅しております。今後、被害想定の見直しにより避難者数が増加していくようなら、避難所の追加も検討していきたい。また、津波による被害は想定されていないことから、津波に対する避難場所や海拔表示は考えていませが、防災意識の向上のため、避難所への海拔表示を検討していきたい。</p>

<p>Q. 【元気な知立】 市長は積極的な外交活動、情報収集を希望する。副市長、教育長の公募により新しい風の導入が必要である。待ちの姿勢でなく、外に出て挑戦して下さい。市議員も積極的に行動して下さい。</p>	
4	<p>回答所管課 協働推進課 総務課</p> <p>市民の皆さんのご意見、要望につきましては、「市民からの手紙」「おいでん市長室」「市長との意見交換会」といった制度を通じて、お聞きしています。それらご意見・要望を集約し、国や県の協力が必要となることに関しては、全国市長会、県との懇談会等の機会を捉え、要望をさせていただいています。また、副市長を公募するという考えは現在ございません。しかし、教育委員の公募については、次回の保護者代表の教育委員の任命を行うに当たって、地域の実情や学校教育に直面している保護者から教育委員候補者を公募し、論文審査、面談等を通じて選考することにより、委員に広く適材を得て、本市教育行政の充実を図る予定でいます。</p>

<p>Q. 【新しい事業（福祉）立ち上げの件について】</p> <p>知立市には、福祉施設が他市にくらべて少ないのが現状です。私の娘も他市に毎日通っています。しかしいつまでも親が元気でいられるとは限りません。そうなった時に地元で、施設を利用したくても利用できない！家にこもるしかないのです。親達で、私達の子どもの居場所を確保するしかないのです。施設の立ち上げにあたり、家賃の補助、1年間限定ではなく、長期にさせていただきたいと思います。是非是非検討をお願いします。備品の補助も、よろしくおねがいいたします。他市から知立市の利用が出来る福祉の市にしたいです。</p>	
5	<p>ご指摘のとおり、知立市内における障がい者の福祉資源は少ないのが現状です。</p> <p>そのような中で、障がいを持つ方のご家族が福祉の充実を図るため、新たな事業を立ち上げる活動を始めていただいていることは把握しています。</p> <p>市としましてもこのような活動や市外事業所の参入を少しでも支援するために、平成26年度から事業所の家賃補助制度を開始する予定です。支援期間や支援内容については、必ずしも十分なものであるとは言い切れませんが、これを機に今後の支援のあり方について検討を重ねたいと考えています。</p>
	<p>回答所管課</p> <p>福祉課</p>

<p>Q. 【福祉施設市補助金の件】</p> <p>①福祉施設を借用し、運営する予定ですが、一年間の家賃補助は市として出せるそうですが、新しく事業を始めるのは負担が大きい為、3年間補助する様な制度を考えて欲しい。障がい者施設として借用するに当り、改修費等にも多額の負担がかかり保護者にも多額の出資を強いられています。</p>	
6	<p>知立市内における障がい者の福祉資源が少ない中で、障がいを持つ方のご家族が福祉の充実を図るため、新たな事業を立ち上げる活動を始めていただいていることは把握しています。</p> <p>市としましてもこのような活動や市外事業所の参入を少しでも支援するために、平成26年度から事業所の家賃補助制度を開始する予定です。支援期間や支援内容については、必ずしも十分なものであるとは言い切れませんが、これを機に今後の支援のあり方について検討を重ねたいと考えています。</p>
	<p>回答所管課</p> <p>福祉課</p>

<p>Q. 【三河知立駅移転】 駅の出来る周辺で判断すれば賛成が多いに決まっている。議員選挙の時に住民投票すればよい。（これが市民の意見である） 駅としての可能性を残すが、次世代の為に、お金を使用した方が持続可能な知立になる。</p>	
7	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>鉄道高架事業は現在ある施設をそのまま高架化することが原則ですが、三河知立駅を移設することによる事業費のコスト縮減やまちづくりへの効果等について検討してきました。 コスト縮減やまちづくりへの効果等が見込めることと、住民説明会において概ねの理解を得られたと判断したことにより、駅を移設する方針を固めました。 住民投票は考えていませんが、今後も鉄道高架事業のコスト縮減に努め、次世代に繋がるより良い知立市を創り上げていきたいと考えます。</p>

<p>Q. 【交通安全】 新年度に入っても、愛知県の交通死亡事故が、減少しない。 知立市でも、危険な交差点を再検討して、危険度の高い地点は、半強制的に「行政」が乗り出し、地元の住民と一体となって、建設を実現し、先送りしない。</p>	
8	<p>回答所管課 安心安全課</p> <p>県内の交通死亡事故は、平成25年は219名で前年にくらべて16名減少しているが、11年連続交通事故死者数全国ワースト1位となっている。知立市におきましても、平成25年には、自転車関連で2名の尊い命が失われ、また、人身事故は417件発生しました。現在、警察署の人身事故資料を元に地図に表示する作業を行っている。事故の形態を分析し、必要な対策（看板の設置等）を講じていきます。 道路管理者に協議していきます。</p>

<p>Q. 【介護について】 要支援者への対応や第2次健康日本21をうけての知立市での取りくみについて 他市では特化した「デイサービス」（運動に特化）など寝たきりになる以前の市民への対応についてです。</p>	
9	<p>回答所管課 長寿介護課</p> <p>知立市では、介護予防事業として、生活機能に関するチェックリストを基に、予防教室を行っています。運動機能向上の健康体操、歯科衛生士による、口腔機能評価と維持体操、管理栄養士による栄養講座を実施しています。運動、口腔、栄養、筋力向上の4講座を3回に分けて実施しています。1回あたり6回コースとなっています。</p>

<p>Q. 【三河知立駅移設について】 来年開業100年です。「知立は知立」の歌詞の1番にもあります。まちづくりの観点からも知立における「三河知立駅」をどう残すか？検討して下さい。</p>	
10	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>三河知立駅は大正4年（1915年）に知立駅として誕生して以来、知立市の中心として知立のまちをつくってきた歴史の証と考えています。この歴史の証をどのように残していくかについては、今後市民の皆様の意見もお聞きしながら検討していきたいと考えます。</p>

Q. 【鉄道高架事業及び移設に関して】
三河知立駅は行き当たりばったりではないのか。
子どもたちの教育現場を削ってまで作るべきか。

11

回答所管課
都市開発課

三河知立駅の移設につきましては、事業費のコスト縮減の他に地理的に可能な設置条件などについても検討を重ね、竜北中学校の南西角付近と計画しました。
減少してしまう学校用地の機能補償につきましては、西側の道路を隔てた隣地で確保していく計画ですが、教育環境への影響を少しでも抑えるよう、今後関係機関と協議を行いながら進めていきたいと考えます。